

令和7年度 上田市の日本遺産に関するアンケート結果

2025.3.2

一 アンケート結果概要

1 実施目的

令和8年度から10年度までの3年間を計画対象年度とする「日本遺産を活用した地域活性化計画」における成果目標のひとつとして「地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われること」が掲げられ、その具体的な指標として「日本遺産を誇りに思う割合」が指定されている。当該指標の算出根拠として市民アンケートによる調査結果を用いる可能性があること、また、当該計画には令和8年度以前の実績値を掲載することを踏まえ、令和7年度時点での状況を把握するため、市民が当市の日本遺産を誇りに思うかどうか等を観測することとする。なお、今後も定期的な観測を行うことを予定する。

2 実施方法 「ながの電子申請サービス」によるオンライン回答

3 実施期間 令和8年1月15日（木）～2月9日（月）正午

4 周知方法 市メール配信、市公式X（旧 Twitter）・LINE 投稿、広報うえだ1月号

5 調査結果 回答件数 195件（うち、市内186件、市外9件）
（メール等受信者約28,000人 回答率約0.6%）

6 結果抜粋	日本遺産の認知度	88%	（※1）
	上田市の日本遺産の認知度	81%	（※2）
	日本遺産の取り組みに関する満足度	32%	（※3）
	上田市の日本遺産に対する好感度	65%	（※4）

※1 「知っている」と回答した者の割合

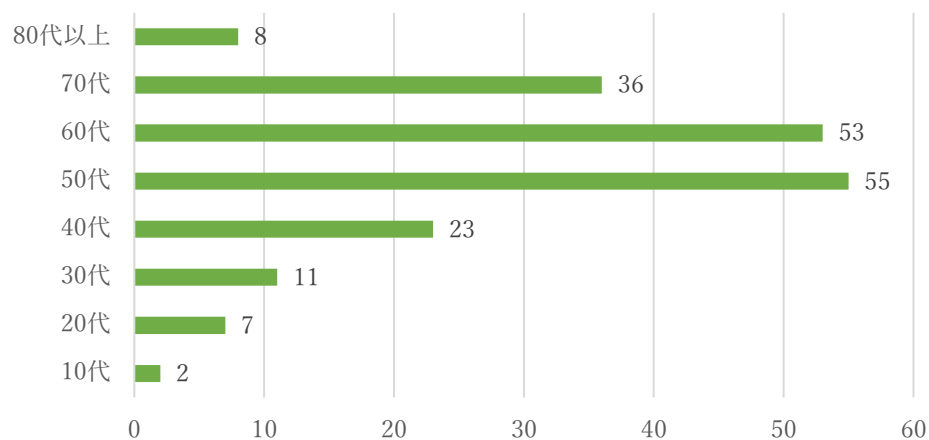
※2 「知っている」と回答した者の割合

※3 「満足」「どちらかという満足」と回答した者の割合

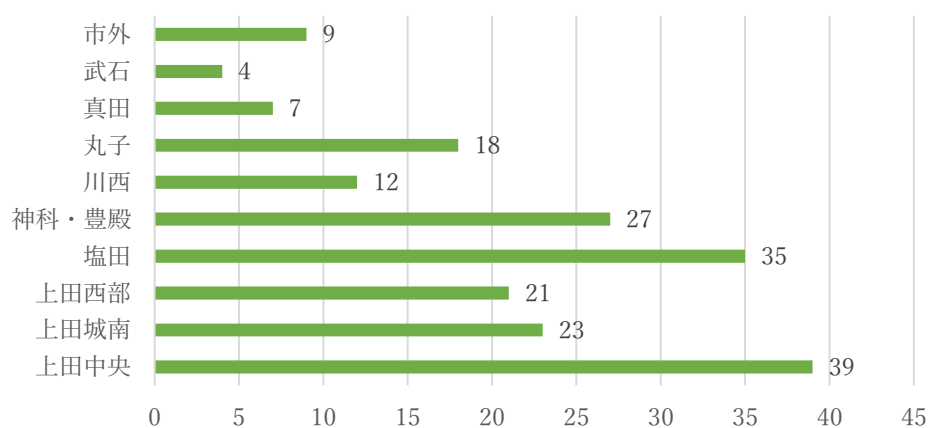
※4 「ある程度好感が持てる」「とても好感が持てる（誇らしく思う）」「とても好感が持てる（誇らしく思う）」とともに、「何らかの関与・協力をしたいと思う」と回答した者の割合

二 アンケート結果詳細

1 年代別回答件数

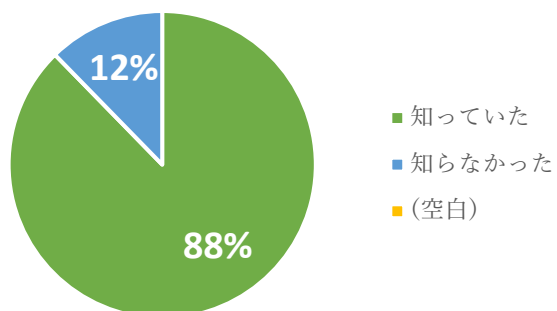


2 住所地別回答件数

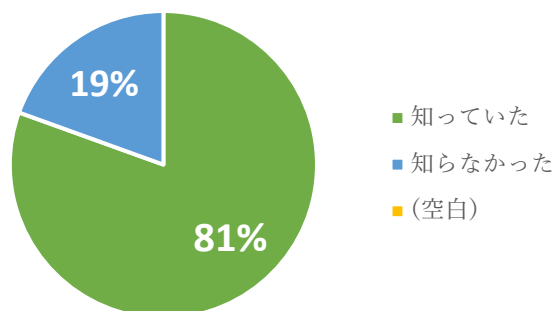


3 日本遺産の認知度及び上田市の日本遺産の認知度・重要度

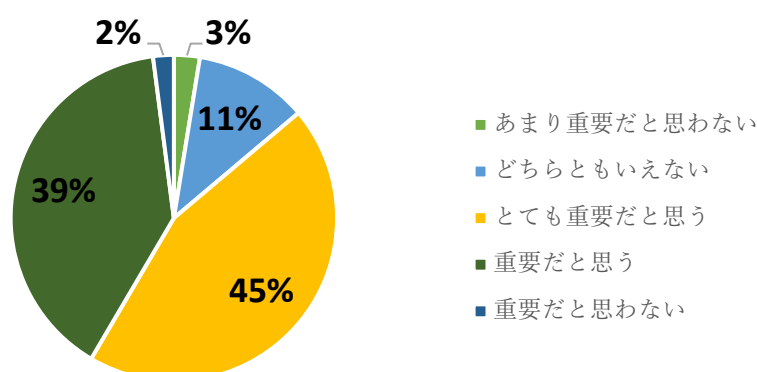
<日本遺産の認知度>



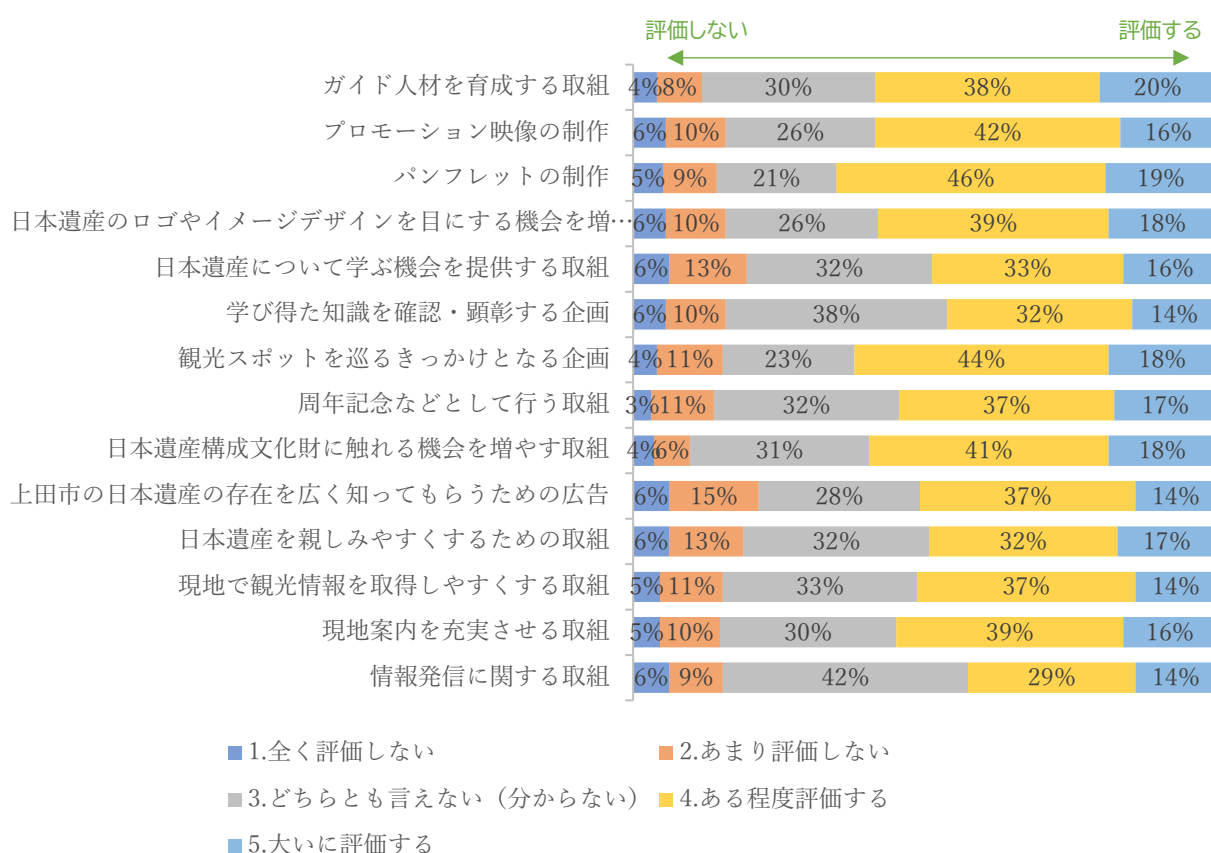
<上田市の日本遺産の認知度>



<塩田平の文化や歴史について重要度>



4 日本遺産活用推進事業の個別評価



5 特に評価したい取組(自由記述)

<まとめ>

文化財のご開帳や神事、スタンプラリー、かるたなどの取組に好意的な声が寄せられています。また、ロゴ掲示や動画公開などの広報物を評価する意見、関係者への敬意を示す声もいただきました。地元の学生が関わる活動や、日本遺産がより親しまれることで地域への誇りにつながることを期待する意見もみられます。

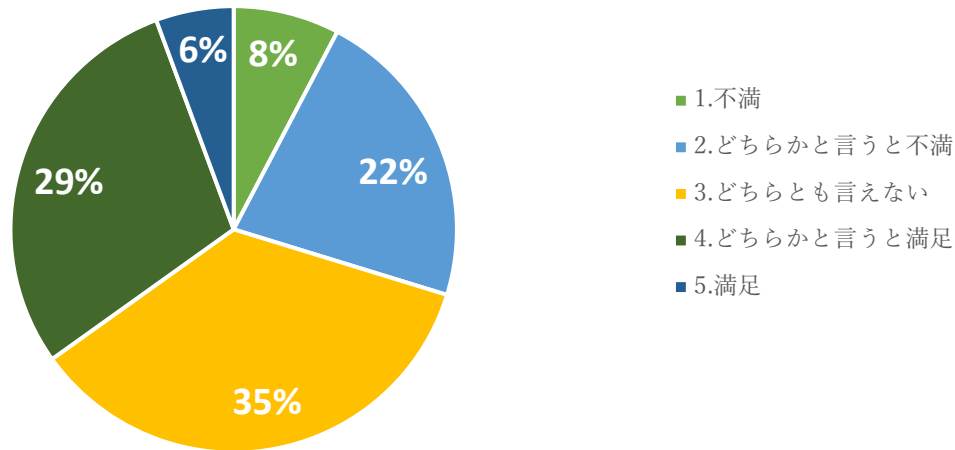
一方で、認知度の低さや情報不足を指摘する意見や、広報の継続性や質の改善を求める内容もいただいております。取り組みに対する費用対効果への疑問、他の事業への優先投資を求める意見、事業自体への否定的な意見もありました。ストーリーの分かりづらさや、日本遺産が

上田の強みとして十分に示されていない点も課題として挙げられています。

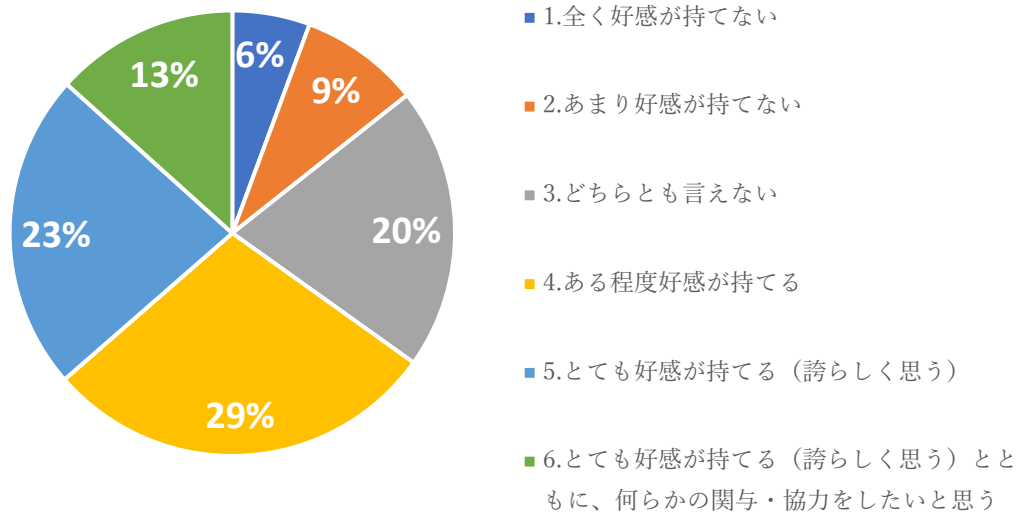
<全文>

- 動画の公開（説明会等）。低画質でもいいので、消去せずに公開を継続してほしい。
- 検定用テキストの作成。ただし疑問点も多いのでメンテナンスに力を入れてほしい。情報源を確認せず鵜呑みにするのは無責任。
- 御朱印
- ロゴマークが駅前や町中の街灯の垂れ幕になっていたときは誇らしかったし嬉しかった。
- 日本遺産に認定されるまでの関係者の尽力に感謝と敬意を表します。
- 私も含めてあまり知られていないのがもったいないです。
- かるた。長野大学の学生さんなど、地元の方が参加した取り組みはいいと思いますし、まずは、地元の方が知り、それに誇りをもつことが大切だと思うので。
- もっと、県外の人達に周知する方法を検討して欲しいです。県外の親戚や友人に「上田城跡公園」には「城が無いのね」と逆に驚かれます。
- 信濃国分寺や安楽寺のご開帳や生島足島神社の神事など貴重な文化財にふれる良い取り組みだと思います。
- 何もなし
- 北向観音のご開帳は良かった。
- ガイド人材を育成すべき
- 特になし
- 日本遺産に触れる機会がなかなかないところに情報が薄い。
- 上田城跡公園しか他県からの人はあまり知らない
- 前山寺近くのおんかけ焼きそばが有名と食べに行った先で信州上田のレイラインの動画を見ました。
- スタンプラリーは、毎年参加しているが、もっと広まるような広報をした方が良いのでは無いかと思う。擬人化キャラクターを駅やバスにも掲示してはどうか。
- このような取り組みに労力とお金をかけるならもっと必要な所にお金をかけてほしい。
- 子育てなど人口が増えるようにする取り組みに。
- やめてほしい。
- 市民の間に地域的な偏りもあるかと思うが、認知度や日本遺産の上田にとってのアドバンテージが見える化されていない。
- 駅前の表示バーナー
- イメージ広告掲示
- 「日本遺産を親しみやすくするための取組」の成果物が全国区の知名度を得る「物語」としてヒットすれば、大きな資産になることと期待しています。
- 短編小説が面白かった
- まだ評価にあたいするだけの実績値がよくわかりません。実施事業は知っていますが、その後の進捗状況がよくわかりません。
- かるた

6 日本遺産に関する施策・取組への満足度(%)



7 上田市の日本遺産に対する好感度・シビックプライド(%)



8 自由意見(自由記述)

(1) 前問において「ある程度好感が持てる」以上の好感度の方の回答

<まとめ>

文化財公開や地域散策の機会、プロモーション映像・パンフレット等の作成については一定の評価が寄せられています。また、日本遺産の活用による観光振興への期待、若い世代や市民参加を通じた広がりへの要望もいただいています。日本遺産をきっかけに、地域の文化財を知

る機会が増えることを望む声もありました。

一方で、認知度の不足や広報の届きにくさ、ストーリーの妥当性への疑問、費用対効果の不透明さを指摘する意見が多く見られました。観光誘客への効果が分かりにくいこと、事業目的や今後の方向性が市民に伝わりにくい点も課題として挙げられています。市内外への周知方法や移動手手段の改善など、具体的な改善提案も寄せられました。

<全文>

- せっかくプロモーション映像やパンフレットを作成しても、それらを広く伝えられなければ意味がないので、上田市の日本遺産を広く知ってもらうための取組みにもっと力を入れてはいかがかと思いました。上田市に住んでいても、このような広告などをあまり目にしたことがありません。ポスターやパンフレットなどをスーパーやコンビニに置いてみるとか、多くの方々の目に触れるような機会を増やす手立てを考えていただけるとよいと思いました。
- 擬人化キャラクターの平面感が強いのもっと立体感がほしい。
- 上田市に日本遺産があること自体全く知りません。私ばかりではなく知らない人の方が多いのではないのでしょうか。そもそも市として、PR、その活用方法、目指したい姿が伝わりません。これまでの取組の成果、地域に与えた影響など示していただきたいものです。
- 範囲が広く、遺産の焦点が見えない。ただの観光客誘致の目的にしか見えない。
- 上田市に住んでいても日本遺産のことについて詳しく知る機会がありませんでした。もっと日常の中で例えばポスターなどで見られる機会などがあればよいのかもしれない。
- ストーリー、キャラクターを使った紹介アニメーションやグッズなどプロモーションに力を入れていただきたいです。
- 取組は全て素晴らしいと思うのですが、あまり社会と接することのない私の目には触れないものばかりでした。非常に興味深いものなので、もっと積極的にアピールした方が良いと思います。すでに実施済みかもしれませんが、テレビ、ラジオ、広報などを利用するのもいいと思います。
- 上田市民でさえ、あまり広告などを目にしない。
- 川東にいるせいか 普段レイラインを意識することがなく『日本遺産』という事さえ認識がありませんでした。もっと上田市全体で意識できる宣伝方法が必要なのではと感じます。
- 取り組み開始時からどう観光客が増えたか、経済効果が増えたか等の評価、検証を行うべき。単なるやりましたよ、のアルバイト作りで、終わらせるべきではない。さらに、インバウンドへの展開を進める施策を行い、PR すべき！大河ドラマ真田丸放送の時にあれだけ大勢の方々が上田に来て頂いたこと、経済効果が上がったことを検証する中で、どう日本遺産の展開へ繋げて行くかを進めて行くことが求められていると思います。
- 旅行会社に取り上げてもらい観光名所とする。さくら、真田丸とセットでどうですか。
- もっとマスメディアへのアプローチ、例えば旅番組など、があると認知度が高まって良いかと考えます。
- 資料館も含めて、信濃国分寺周辺を散策するのが好きで自転車や徒歩などで年に何回か訪れています。歴史的にも貴重な史跡ですので、もう少し展示や施設に力を入れてほしいです。県外の知人を連れて行くには日本遺産認定の観光地として物足りない印象です。市民が散歩

するだけの公園では勿体ないです。展示方法も更新されておらず、貴重な展示品も多いだけに残念です。塩田平や別所温泉をトレッキングでまわれる企画（四十八札所めぐり、信濃三十三観音霊場など）をもっと周知してほしいです。写経体験や精進料理、カフェなど寺院や飲食店などと一緒に企画するなど、観光客も分かりやすく楽しめるまちづくりをしてほしいです。春の桜や新緑、アジサイなど景色も素晴らしいので、自然環境も生かした取り組みを期待します。県外や海外の知人に自信を持って案内できる観光地にしてほしいです。

- 全国には各地にそれぞれの伝承文化歴史があると思うが、観光誘客に繋がるのは、ごく限られた層だと思います。観光ターゲットをどこに絞るのか、他の観光資源を含めた検討が必要と考えます。
- もっと印刷物でアピールすべきである。
- 他の市（安曇野市等）でもやっているのだが、日本遺産に限らずですが、メタバースでの上田市の日本遺産の紹介などをやってはどうかと思う（自分がやっているメタバース cluster を安曇野市が利用していて、自分もユーザーで安曇野市の所へ行ったことがあります）そうすれば、全国とは限らず、世界中の人々に興味が出て来てくれるかもしれませんし、メタバース内でも、見てくれます。
- 国分寺、塩田平、別所へ 四季の美しさ、自然の豊かさ 移動手段のプラン提案を 時間軸とともに 食文化や食べ歩きも 情報提供 金額、価格を明確にしてチケット QR や割引特典も付けてより多くの人に感じて貰える。
- 多額の税金を使って PR する必要はない。
- リーフレットを、多国語バージョンにしたり、マスコットキャラクターを、作成しオンラインショップで販売したりしてほしいです。
- 国分、下之郷、前山・別所温泉を、一本につながる物語がある観光ルートに仕立てることに難しさがあると思います。しかしながら、それぞれの地区のランドマークに投資を行って魅力と価値を向上させるとともに、新たに産み出される物語（→「日本遺産を親しみやすくするための取組」）で結びつけていくことは可能と考えており、そこに期待を寄せています。例えば日本遺産には含まれていない戦国の真田家は、全国的な知名度を持つと同時に、国分寺・生島足島神社・別所温泉のいずれにも由緒を持っており、一つの物語として繋ぐことができます。
- 上田市の日本遺産については、昨年信濃毎日新聞で立松記者の丁寧な取材に基づいた記事が掲載されました。この記事ではレイラインの歴史的根拠の薄弱さにも疑問を呈しており、一歩間違えばスピリチュアル的な流れに巻き込まれてしまう危険性を示唆したものでした。上田は他の自治体からみれば羨ましすぎるほどの観光資源をもっているにもかかわらず、なぜよりもよってうさん臭いレイラインなのか、というのが移住者の私の素朴な感想です。もちろん塩田地域はもっと注目されてよいし、当該地域の伝統行事や史跡を観光資源として「再発見」するために創ったツールがレイラインだったのだ、という事情もあるのでしょうか。そうした町おこしの苦労や仕掛け人の意図などの背景と要因があることは承知していますが、それでも上田市はこれらの危うい仕掛けには慎重になるべきです。史実に基づかない歴史に「ロマン」を求めるのは個人レベルでは自由ですが、自治体はその方向を選ぶと一気に地域

住民に広がり、たとえば将来的に小学校の副読本に地域の歴史・文化としてレイラインが載るおそれもあります。それは「ふるさとの二次創作」にほかなりません。

- 千曲市のターキーのような親しみやすいアニメを制作し、日本遺産を含む地域の文化財等を巡る聖地巡礼ツアーの流れを作り、観光振興と別所線の利用促進を図る
- イベントなど、あまり広報が届いていない気がします。地元で愛されてこそその活動だと思うので、うまく発信して欲しいです。また軽井沢、白馬などのインバウンドをうまく取り込んで、観光地としての魅力をアップさせて欲しいです。
- 暗中模索しながら、事業の実施に御尽力いただきありがとうございます。
- 上田市の問題ではなく、そもそも上田市に限らず、日本遺産そのものに余り価値を見出だせない。重要無形文化財など日本独自の指定との違いが良く分からない。
- 知らない、興味がないという方が多いのではないかと感じます。どうしたら上田市民が日本遺産に誇りを持てるのか？これから未来を担う若者にも幅広く意見聴いていただき、どう広報活動したら良いか考えていただけたらと思います。
- 今後とも、日本遺産の維持とPRに尽力願います。
- 専門家の意見が欲しい。偶然でないなら、なぜどのような経過で遺産として評価されたのかの説明が欲しいです。
- 1つ1つが散らばり「おすすめは？」と聞かれても答えに困る地元民です。去年も埼玉の友人家族が遊びに来たのですが全て車2台での移動になりました。私も良い考えなんて無いのですが移動も楽であちらこちらに点在してしまっている観光名所を効率良く楽しく回れる方法があれば良いかと…。スタンプラリーが有る事も知っていますがあまりにも移動距離が遠くて…もっと、上田駅を起点にしてコンパクトに回れるスタンプラリーならやっても良かったかな？とも思いました。友人家族は、お子さんの夏休みに合わせて来たので…連日39°Cの炎天下の中を歩きでの移動は無理でした。
- 「世界遺産」と聞けば興味や関心を抱きますが、「日本遺産」と言われても正直ピンと来ません。地元上田市の人間には(一部かもしれませんが)あまり馴染み無く、誇らしく思えません。県外からの観光客の方がよく知っているぐらいです。地元上田市民に対してもう少し、何か具体的に浸透するようなやり方はありませんか？あまりに勿体なく感じています。
- もっとやらなければいけない事があるともいます。
- 「日本遺産」だからということにこだわらず、私たちの里にある文化遺産を知り、大切に継承すべきだと思います。私たちの子ども時代は学校の見学や遠足で、塩田平は何度となく訪れました。当時はその価値や過去からの歴史などは詳しく知ることもありませんでしたが、時代を経てとても大切にしなければならぬ物なんだと分かりました。子どもたちの心のどこかに、自分の生まれた場所にこんな素晴らしい文化遺産があるんだ…という意識が残って欲しいと思います。
- 上田城にもっと力を入れてほしい。塩田平の取り組みの効果が得られていない。"
- 私のような、日本遺産の情報を積極的に集めようとしていない人でも、関連の情報に触れ、その内容をある程度理解していることから、市内への周知という点で効果があったのではないかと思います。その一方で、多くの取り組みを実施されていると思いますが、全方位的に

取り組まれているような印象もあり、日本遺産を活用した地域の活性化としてどのような姿を目指されているのか、その実現に向けてそれぞれの取り組みは効果的であるのか、誰をターゲットにしているか、やや疑問も持ちました。日本遺産に選定されて以降、日本遺産の市内認知度は増加したのか、日本遺産目的の観光客は増加したのか、塩田・別所温泉を訪れた市外・県外の観光客の満足度やリピート率に寄与したのか、などの指標を確認することで、日本遺産に関連する上田市の取り組みが地域活性化に貢献したかを判断する一助になると思います、そのあたりの報告も拝見したいです。

- もっと多くの人に興味を持って頂きたい。
- 行政の取り組みは見かけますが、地域住民からのやる気が感じられない。受け身の姿勢に見える。地域が誇りある文化遺産だと思っているのであれば、もっと主体的に動くべきです。
- 上田市としてのゴール地点（ビジョン）が見えない。ボランティア任せで最小限のコストで取り組むということであればそこまでのものなのだと思うが、別所から塩田地域においては若くてやる気のある経営者さんが複数いらっしゃるし、長野大学や短期大学などもあることから、産学官金連携で相応の観光資源を目指して取り組みを強化していただきたい。
- 日本遺産を PR することが目的になっているように見受けられ、そもそも目的であったらう観光誘客などへはほとんど繋がっていないと感じている。これは、日本遺産自体の魅力の薄さに加え、レイラインというそもそも存在自体が疑われるものを無理やりストーリーにしていることが理由。日本遺産として PR してきたサンクコストは考えず、日本遺産やレイライン抜きに上田の魅力を発揮した方が、税金の使い方としてより適切かつ効果的だと考えております。
- 上田市民が知らない人が多いので、他県の人に知られているとは思えない。情報発信の仕方考えた方が良いのでは？知っている人は興味がある一部だけで幅広く知ってもらう必要があるのではないのでしょうか。やるなら、大々的にやる上田市は、ちまちまやるだけでどれも中途半端だと思う。
- 塩田平が日本遺産に認定されていることは存じあげておりましたが、具体的にどこがどうということとは理解しておりません。イラストやアイコン等で、分かりやすく親しみやすい形で広めていただければと期待しております。
- 上田市日本遺産についての広報の不足 ベントの周知 等の不足で市民にどの程度認知されているか疑問です。
- 直接行かれるバス導入の検討を願います。市内移動に難儀しています。
- 世界遺産は、マスコミにも大きく取り上げられ、かなり知名度があるが、日本遺産については、あまり知られていないように感じている。「信州の鎌倉」と過去からいわれている当地をもっと知名度のあるものにするためには、姉妹都市でもある神奈川県鎌倉市とタックを組み「鎌倉」と「信州の鎌倉」を関連付け「世界遺産登録」されるよう進んではどうだろうか。世界遺産登録された「富士山」には「三保の松原」も含まれている様に、場所的には、離れていても可能性は大きいと思う。
- 少ない歳入のもと、必要な事業か疑問。地域活性化や観光客誘致にどれくらい効果があったのか測定し、費用対効果を数字(金額)で公表してほしい。

- アンケートの日本遺産の好感度の質問は、何に対する好感や誇りなのか不明では。「文化財」と「ストーリー」に分けて質問すれば異なる結果になると思います。普通に人に話せるテーマにしてほしいです。上田の日本遺産のことは恥ずかしくて何も言えない。話したくない人が多いから認知度が低いのでは。認定ストーリーの太陽信仰・龍神信仰は脚色が強く、本物と言えるのか疑問。本尊よりも大日如来に注目したり、御礼の例祭を降臨の儀式のように言ったり。認定ストーリーの想像や感想の部分、「我はこの地に降り立ったのだ」、「太陽と大地は、この神秘的な光景を〜現代に遺した」、別所線は龍の形をしている等は、聞いたことがあります。別所からは細長い湯川流域は見えますが、余程高所に上がらないと塩田平を「見渡せる」「一望」という印象はないです。
- 塩田平へ通じる県道市道等が常に草だらけになっています。もう少しきれいにする事が出来ないのでしょうか。観光面でも決して良いこととは思えません。
- それぞれの構成文化財がバラバラに活動しているので一緒にできる活動や会議意見交換をしたい
- 上田市の認知度を上げるためには、ある程度有効かとは思いますが、レイラインが歴史的、学問的に確かな価値があると言えるのか疑問がある。あくまでも塩田平の文化財を広く知ってもらうための入り口として活用し、魅力ある街づくりと真に価値ある文化財の案内を充実させていくことが大切だと考える。
- 全国的に日本遺産の知名度が低いので観光客の迎えるにあたって地域活性の効果がない。もう少し日本遺産自体が理解し浸透するのを願います。
- レイラインというアピールポイントが、学術的に裏付けのあるものではないとの情報をインターネットで見ました。集客を目的とするのであれば、しっかりとした説明が必要だと思います。日本遺産の定義に関わらず、上田地域、塩田平は自慢の故郷です。正しい発信方法を期待します。
- もっともっとアピールが必要だと思います
- 遺産そのものPRには力を入れているが現地迄の道路の整備等も調査して大型自動車が来られる事も確認して整備をお願いして行く事も必要かと思っています。
- そもそも、「日本遺産」の意義がよくわからない。文化財を守っていききたいのか、外貨を落としてもらうためのツールなのかわからない。日本の各地に「日本遺産」というものはあるのだろうが、正直聞いたことがない。歴史や文化財に興味を持っている人向けのニッチなコンテンツなのだと思う。認定に至るまでの労力や今後の維持管理などを考えると「日本遺産」を続けるメリット・デメリットを再考したほうがいいのではないだろうか。
- 日本遺産の認定された当初は市も活発に活動されていたように思いますが今は一部のみになっていてもったいないと思います。レイライン関連全体のイベントなどあっても良いと感じています。
- 上田市の日本遺産を周知することは、とても素敵な事だと思いますが、なかなかお金がかかるのではないかと懸念されます。小中学校での取り組みなどもすると、活動も広がっていくと思います。
- 1信濃国分寺も構成文化財になっている。もっと面的に展開できないかと思う。

2 現在、民放で放映中の「探偵さん…」は面白い。あの番組の出演者のトークショーとか別所であったら、聖地巡礼とか、人は集まると思う。その際一緒に、日本遺産もPRしてはどうか。

- 信州上田は古き良き街であり日本遺産に当たるものが多いのに知らない人が多い。まちづくり観光などもっと宣伝に力を入れてもいいような気がします。例に上げると
- 八角三重塔など本当に昔から大切に守られてきた文化財があるのに他県からくる人は上田城跡公園だけで満足してしまう。凄く勿体無いと思います。上田市ならではの持ち味など生かされていない。若者がわざわざ上田市を訪れる様な機会があれば市の発展にもつながると思います。サマーウォーズの時は興味を持って上田わっしょいに訪れる人が多かったのと同じで何か日本遺産の大きなイベントなどあればよいのではないのでしょうか。これからも上田市の良さをいろんな人にしってもらえたら良いと思います。
- 上田市検定（上田城、神社仏閣、歴史、地理）を企画してはどうでしょうか？